

増沢構成員提出資料



英国のSW人材育成体系

1

子どもの虹情報研修センター
増沢 高

SWの人材育成体系化の背景

(PROFESSIONAL CAPABILITIES FRAMEWORK/PCF)

•きっかけとなったBaby. P事件

クリンビエ事件と同地区で起こった虐待死事件。支援関係者と78回接触があり、母親が2回逮捕されていたのに保護されなかった。

•Social Work Task Force

ソーシャルワークの実践とマネジメントの向上を図るために、政府のソーシャルワーク改革プログラムを促進し広める協議会。2008年1月に設立。健康省と子ども・家庭・教育省のサポートを受け、ソーシャルワークの改善、向上のための15の勧告を2009年に提示。

•College of Social Work

Social Work Task Forceの15の勧告を受けて推奨し2009年に設立された。ソーシャルワークの専門性向上をめざしSWをサポートする独立した機関。適切な専門家規定を守り、専門性の向上を促進し、公衆、メディア、政策策定者に貢献するための機関。

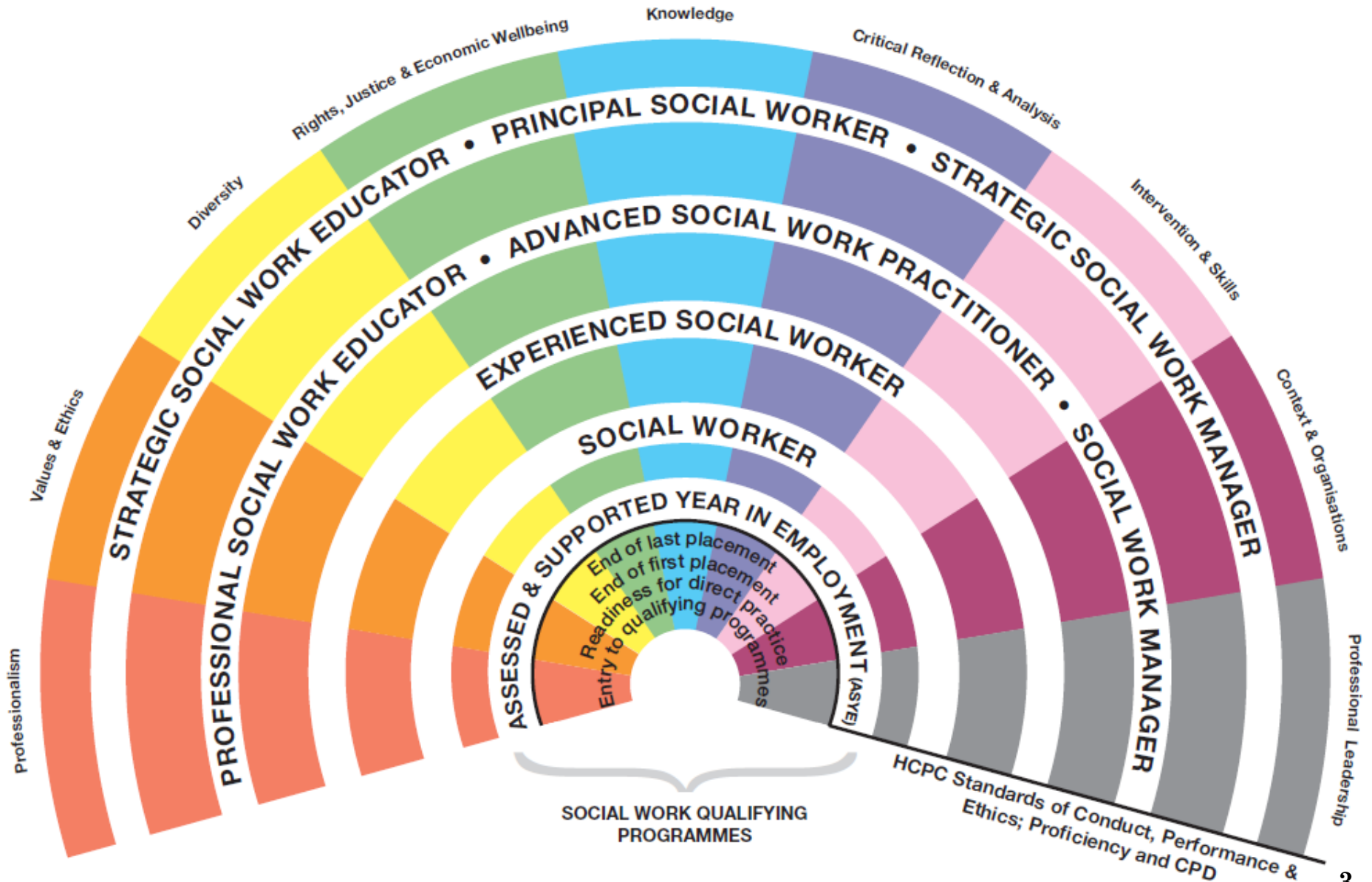
•ソーシャルワーク改善委員会(SW Reform Board)

Social Work Task Forceの15の勧告を進めるために2010年1月に設置された委員会。

•Professional Capabilities Framework

ソーシャルワーク改善委員会が、ソーシャルワークの質的向上を図るために作成したもの。現在College of Social Workが管理。**ムンロレビュー**(2011年5月)の勧告では、これを推奨。

Professional Capabilities Framework for Social Workers



Professional Capabilities Framework For Social Workers

領域／レベル	学生				実務者			アドバンス	
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9
①専門性									
②価値と倫理									
③多様性									
④人権、社会的公正、 経済的福利									
⑤知識									
⑥批判的考察と分析									
⑦介入とスキル									
⑧状況と組織									
⑨専門家としてのリー ダーシップ									

PCFの領域について

①専門性 (Professionalism)

ソーシャルワークの専門家としてのアイデンティティと責任ある行動及び向上

国際的にみとめられた専門家であること、UKでは国家資格であること、専門家として社会的信用を得ること、など

②価値と倫理 (Values and Ethics)

専門的実践向上のため、ソーシャルワークの倫理原則に従い、社会から価値ある職種として認められること

支援者の倫理を重んじ、利用者との協力関係を構築する。他の専門領域の倫理規定等の理解と尊重

③多様性 (Diversity)

多様性を認識し、反差別及び反弾圧の原則を実践に取り入れる

多様性が人間の経験に作用し、人格形成に影響を与えていることの理解。人種、障害、階級、経済状況、年齢、性別、性と性転換、信仰や信念などの多様性を尊重し、適切に対応する。

④人権、社会的公正、経済的福利

(Right, Justice and Economic Wellbeing)

人権擁護、社会的公正および経済的福利の促進

人権と社会的公正の原則が国内および国際的な法律、条約、施策によって守られ、実践を支えていること。判例の実践への利用。弾圧、差別、貧困の影響への理解。

⑤知識 (Knowledge)

社会科学、法律、ソーシャルワーク実践理論を踏まえる

批判的考察と理論的考察を熟知し、様々な情報やエビデンスを認識、整理、評価して包括的に取り入れ、実践に用いる。

⑥批判的考察と分析 (Critical Reflection & Analysis)

理論を踏まえ、自らの実践を批判的に分析、洞察すること

理論、エビデンス、体験等を包括的に取り入れて実践を行う。実践を分析、洞察する。

⑦介入とスキル (Intervention and Skills)

権利侵害、ネグレクト、虐待を予防するために、個人、家族、コミュニティに介入する判断と権限

介入(自立の促進、支援と保護、予防)を判断し行う。権利とリスクの適切なバランスを保ちながら安全を確保するために権限を行使する。その結果を評価する。

⑧状況と組織 (Context and Organizations)

状況に適応し実践を行うこと。所属組織の枠組みの中で効果的な実践を行う。多機関・多職種連携の中で効果的に働く

社会的状況の変化や体制に応じて柔軟に責任ある行動をとる。所属機関の一員として倫理に従い、その責任を担う。専門家や地域と協働し情報を共有する

⑨専門家としてのリーダーシップ (Professional Leadership)

スーパーバイズ、教育、アセスメント、研究、指導、リーダーシップ、マネジメント

SV, アセスメント、実践、教育やマネジメントなどを通して、専門性の発展に貢献する。他の支援者、ボランティア、里親等他の職種にも幅広く教育を行う。

PCFのレベルについて

学生レベル

L1 プログラム入学時

- ・ソーシャルワークの実践における社会的背景の認識
- ・自己認識、対人関係を築く能力
- ・トレーニングを通して必要な知識、スキル、価値観を吸収できる見込み

L2 実習の準備段階(初めての实習の前)

- ・基本的なコミュニケーションスキル、利用者と関わる能力、機関の一員として仲間と働く能力、フィードバックやSVから学ぶ姿勢
- ・実習先で使える基本的なソーシャルワークの役割、知識、スキル

L3 初めての实習終了時

- ・SVやサポートのある環境下
- ・比較的単純なケースで知識とスキルを生かし、基本的役割を果たす
- ・明快な解決法のない状況において他者と共にワークする能力

L4 資格取得プログラム終了時

- ・様々な利用者集団とワークする知識、スキル、価値観を持ち、様々な課題に対応する基礎レベル
- ・より複雑なケースをワークする能力(最終的な判断はSVがするという認識のもと、より自主的に行動し、適切なサポートとSVを得る)
- ・これらの能力は、資格取得プログラム最終審査の他項目と共に、最終実習先で実証される

実務者レベル

L5 研修期間終了時

- ・より広範囲の課題や役割。介入はより効果的、自信や他者への信頼を構築
- ・経験とスキルを積み、より複雑なケースをワーク
- ・SVにおいて適切なサポートを得て主導的に実践、自身の実践を評価

L6 SW実践

- ・より複雑なケースでの効果的な実践の向上、質の高い判断
- ・この先発展する可能性のある問題を予測
- ・より自信を高め、自立しており、役割の幅を広げるために自主的に行動
- ・1つ以上の専門的実践領域を持つ
- ・地域の資源ネットワークを知る、同僚や関係者から知識やアドバイスの提供

L7 経験を積んだSW

- ・より自主的に役割をこなす、複雑なケースにおける専門的で効果的な実践
- ・より上のレベルの広範囲の他専門家と連携、複雑なケースをマネージ
- ・専門的な見解を多機関や職員に提供、会議への出席、事例検討における専門的サポート、質の高いアセスメントやレポートを提示
- ・実践モデルとなる、他職員の目標を設定、実践の責任を持つ、指導やSV
- ・関係者の人材育成、サービス提供についての意見を理事会などに提供

3つのタイプのアドバンスレベル

○ アドバンス臨床家

特定の利用者集団の専門家として認識されており、非常に複雑なケースにおいて、リーダーシップやその知識を同僚や他専門職員に提供する。実践、手順や政策を向上させ、改革を促進し、効果を上げている実践を広めるなど、建設的な課題をこなす。現場の実践の知識向上に貢献し、洗練された批判的洞察能力を駆使する。モデルとなり、それを実践に反映させる。

○ 専門教育者

資格取得プログラムの学生や、研修中の職員などの教育を促進し、彼らに知識や技術、価値観と実践能力を獲得させる。職員育成担当者を育て、困難な状況に対処できる現場を育てる。教育及び研修提供者と接点を持ち、カリキュラムやアセスメント、評価などに貢献する。また、機関内の職員育成に貢献する。

○ ソーシャルワークマネージャー

機関の他職員や他専門家を協力して、SWと他職員のチームを先導、動機づけ、管理し、サービス提供の効果、その品質保証の管理、適切な資金や資源を確保する。彼らは、公共部門とソーシャルワークのマネジメントについて見識を持っている。実践の発展、そして特に担当するチームの専門性や手順と政策の発展に貢献する。他の職員の実践に責任を持ち、効果的なSVを提供し、実践の品質向上のための教示やコーチング、業績評価、監査などを行う。また、チームと、機関全体や他のサービス提供者との情報共有確保する。